

山本乾燥情報

早期登熟や登熟後の雨の影響で、圃場で稲の倒伏がみられます。倒伏した稲の場合、水分がバラツキますので乾燥作業には十分ご注意ください。

冠水、倒伏について



冠水

冠水した場合は、穂先や葉が出るように速やかに排水してください。穂が地面についている場合は、圃場発芽を防ぐため、隣り合った株の上に穂を持ち上げて乾燥させてください。収穫直前の稲は、可能な限り速やかに収穫しましょう。

倒伏稲と正常の稲は、刈取り・乾燥を別々に行う のが理想です。

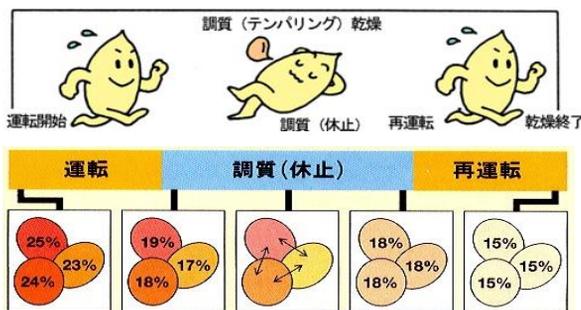
※良いお米に混入すると全体の等級が低下します。

正常な圃場の籾と倒伏した圃場の籾とを一つの乾燥機に入れると、水分ムラが発生します。水分ムラを抑えるには、調質乾燥を行ってください。

2020年型以降のウィンディビルド乾燥機(VMR、VAR、VNR、VAM)では、「おまかせ」乾燥を活用ください。

《対処法1》調質(休止)乾燥・2段乾燥

※調質(休止)乾燥とは、18~19%の水分まで通常の乾燥を行い、その後、完全休止(5時間以上が理想)する事で水分のムラを少なくすると共に、穀温を下げ胴割れの予防も行います。



《対処法2》新機能「おまかせ」乾燥



「おまかせ」乾燥は、機体内部の籾を「攪拌」し、自動で乾燥運転を「休止」させる運転方法です。

「おまかせ」乾燥の手順

- 1) ④を押して「もみ」を選んで⑥を押す
- 2) ⑤を押して水分設定をして⑥を押す
- 3) ①を押して「おまかせ」を選び⑥を押す
- 4) 乾燥運転を押して乾燥を開始する

